

☆5月12日は、看護の日です☆



済生会和歌山病院では毎年、看護の日のイベントを行っています。今年は病院玄関でティッシュを配り、患者様やご家族様と交流を図る機会となりました。病棟でも入院患者様に、担当看護師からメッセージカードの入ったティッシュをお渡しし、感謝の気持ちや今後の療養を励ます気持ちをお伝えしました。



☆看護の日って何でしょう？☆

『看護の日』と聞いても馴染みの無い方は多いかと思います。『看護の日』は毎年5月12日で、近代看護の母であるナイチンゲールの誕生日にちなんで、看護の心を広くお伝えする日です。

看護の心を一般の方々にも理解していただくことを目的に全国でイベントや催し物が行われます。



日本看護協会でも “**なりたい自分になってやる。**” をテーマに2025年「看護の日」イベント「KANGO部！」といった情報発信型のイベントを俳優やタレントの方を招いて開催されています。イベントの様子はYouTubeでも配信のアーカイブをみることができます。今後も活動を通じて、看護の心を広めていきます。後世の看護の心を育み、共に患者様に寄り添う病院を目指していきたいです。